

国宝 金峯山寺本堂の液体散布事件について

(奈良県吉野町吉野山)

1. 被害状況

平成29年4月1日(土)午後2時50分頃、寺職員と警察が境内を巡回中に、本堂正面中央の扉板内側と西方の扉板の外側、およびそれぞれの直下の縁板に液体による汚損を発見し、寺は被害届を警察に提出。

2. 対応状況

- ・金峯山寺内の他の建物に被害はなし。(H28.4.2 寺職員が巡回し確認。)
- ・これまで被害のあった文化財所有者18ヶ所に注意喚起を行うとともに、被害の有無の調査を依頼。(4月3日午前9時現在、被害の報告なし。)
- ・4月3日付で、市町村を通じて県内文化財所有者(約400ヶ所)に対して、文書で注意喚起を実施。

なお、文化庁においても状況把握のため調査官を派遣し、4月3日(月)午後金峯山寺を訪問し、被害状況を確認。

3. 過去の経緯

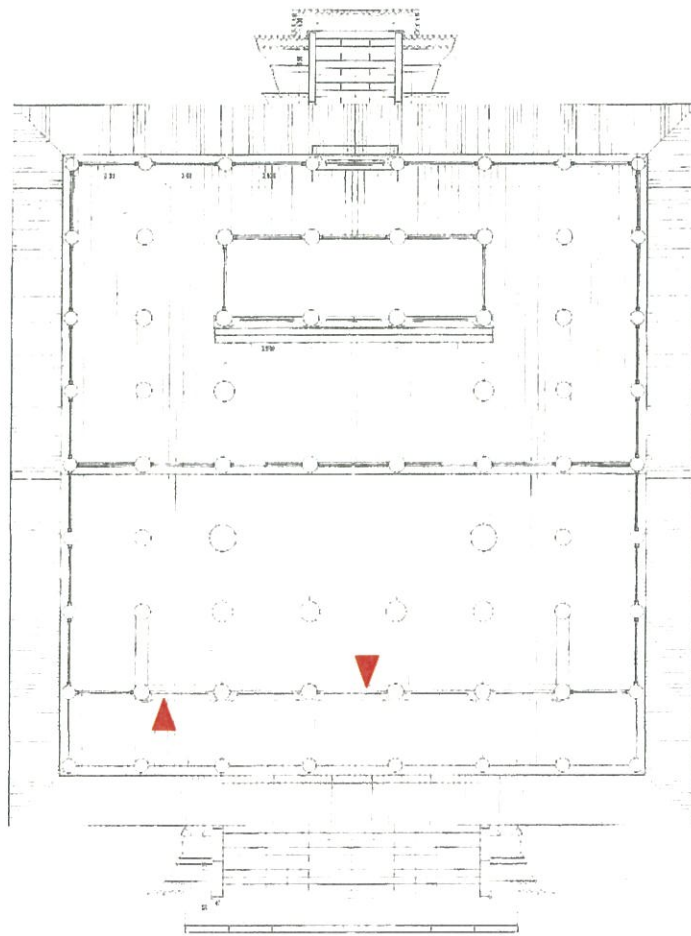
平成27年4月 県下19社寺に液体汚損被害が発生。

平成28年11月 県下4社寺に液体汚損被害が再び発生。

この事案に対する対応として

- ①所有者に対する注意喚起を促す通知文の発出
- ②所有者、市町村担当者ほか関係者との情報共有のための連絡会議の開催
- ③文化財保護啓発ポスターの作成による地域ぐるみの防犯の呼びかけ
- ④文化財保護指導委員に対しての巡回強化の要請
- ⑤防犯カメラ・センサー設置促進のための補助事業の実施

などを行っております。



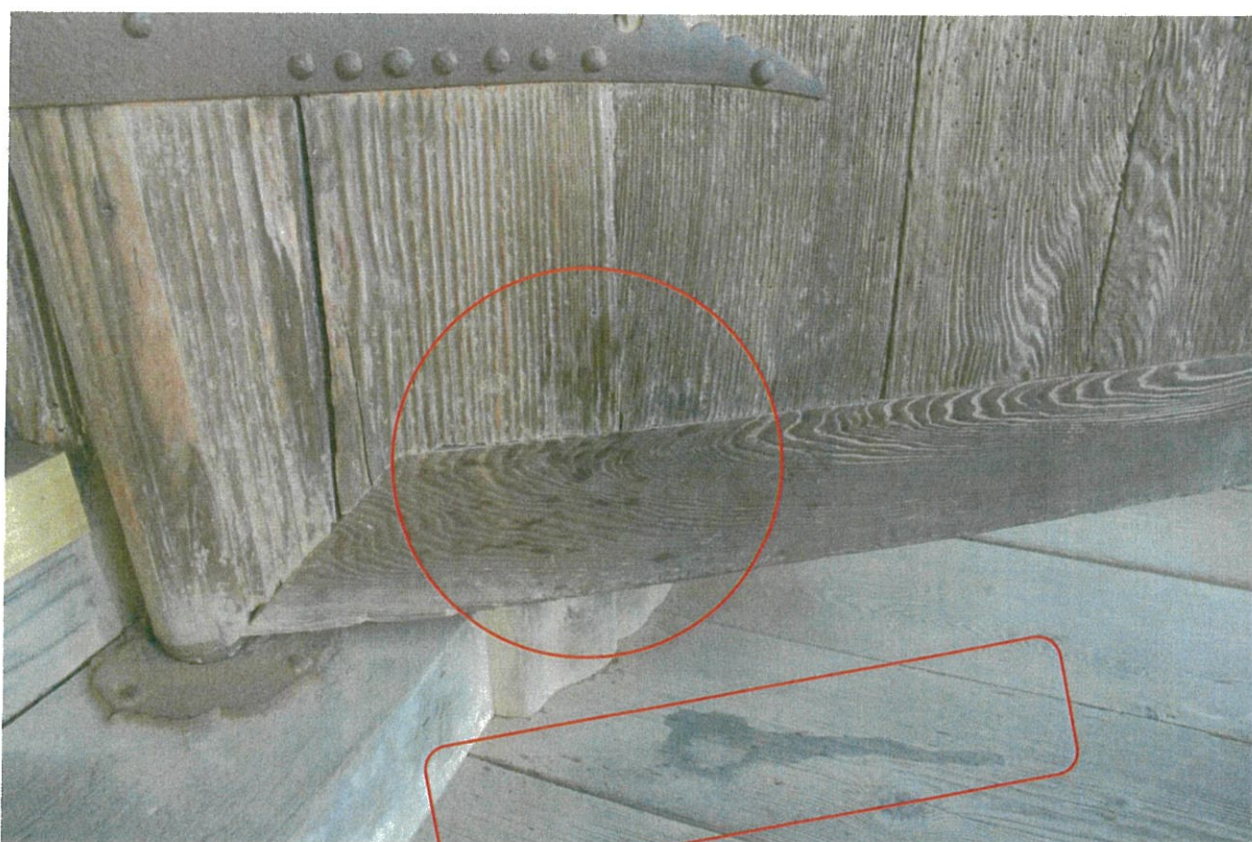
国宝金峯山寺本堂(蔵王堂)平面図、正面側扉2枚(▲印)に液体がかけられた痕が残る。



本堂、正面、西南より見る。正面側扉板まわりに液体が残る(赤▲印)。



本堂正面、東より4間目の扉板東方、内側下辺あたりに液体痕(赤○印)。



本堂正面、東より4間目の扉板東方、内側下辺あたり拡大
かけられた液体の痕(赤○印)。扉板下の縁板にも液体が散っている。



本堂正面、東より6間目の扉板東方、内側下辺あたりに液体痕(赤○印)。